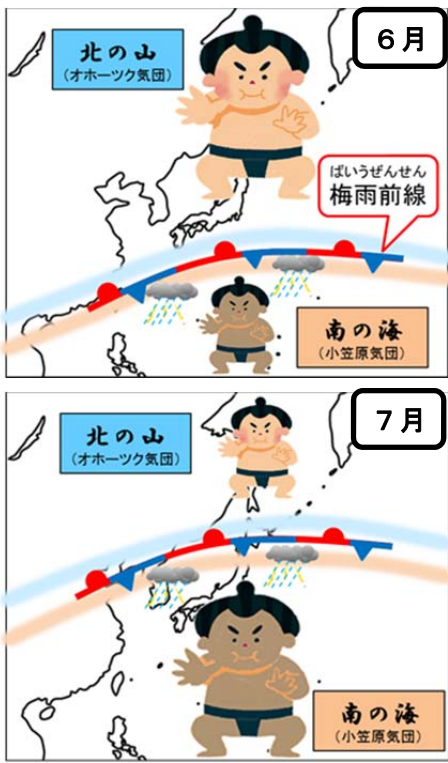


「梅雨」のはなし

梅雨ってなあに？

梅雨をお相撲にたとえると…



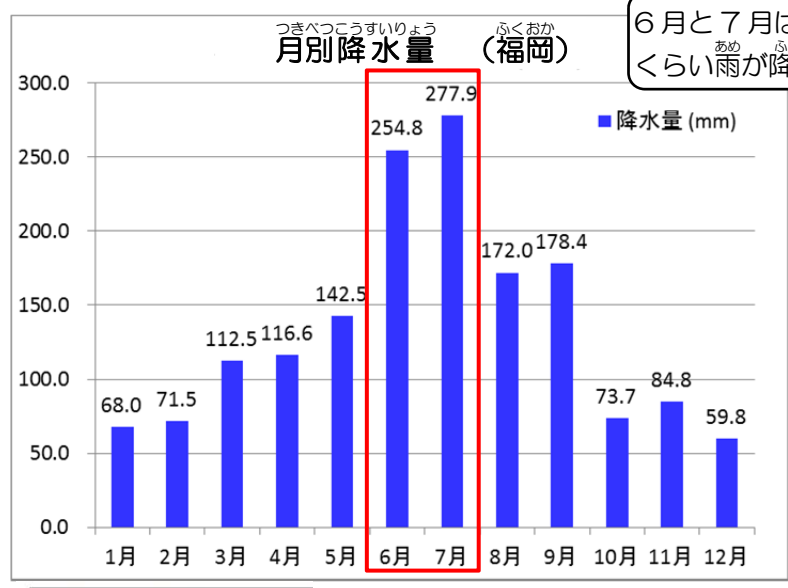
毎年、六月頃になると、寒い北国出身の横綱「北の山」(オホーツク気団)と暖かい南の国出身の横綱「南の海」(小笠原気団)が、日本付近でお相撲をとります。はじめは、北の山が優勢ですが、七月半ばになると北の山は疲れ、南の海が力を盛り返し、北の山を押し出して勝負がつきます。北の山と南の海がお相撲をとっているとき、日本付近では「梅雨前線」ができて雨がたくさん降ります。これが「梅雨」です。お相撲の始まりが「梅雨入り」、勝負がついたときが「梅雨明け」で、夏の始まりです。



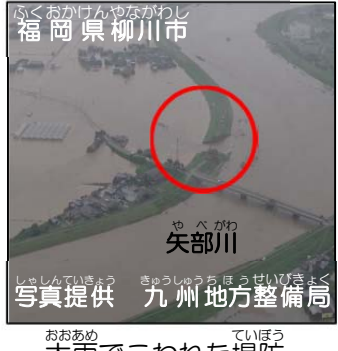
2017年 6月5日 月曜日
 平成29年 6月5日 月曜日
 福岡管区气象台 〒810-0052
 防災調査課 福岡市中央区大濠 1-2-36
 電話 092-725-3614 (記事)
 092-725-3600 (天気相談所)
 メール fk-kanku@met.kishou.go.jp
 (ご意見・ご要望はこちらまで)

1年の降水量の約3分の1は梅雨の期間に降るんだよ

梅雨をもたらすもの



梅雨の期間はだいたい一カ月半くらいですが、この間に一年の降水量の約三分の一が降ります。梅雨入りの頃、農家では田植えをするので、農家にとっては恵みの雨になります。しかし、時には大雨となって災害をもたらすこともあります。特に梅雨の終わり頃には大雨の危険性が高くなるので、大雨情報や大雨警報に気をつけましょう。



- 家のまわりや通学路などの危険な場所(「がけ」や川)を調べておきましょう。
 - ひなん場所と安全な通り道を確認し、ひなん場所で使うものを準備しよう。
 - 大雨のときは最新の情報を手に入れ、おうちの人と早めに行動できるようにしよう。
- 大切なのは、自分で考えて、しっかりと自分の命を守ることです。

「お天気Q&A」

Q: 北海道には梅雨がないって本当？
 A: 本当です。九州のように大雨が降るような梅雨はありません。しかし、九州で雨がたくさん降っている頃、北海道でも雲が多くて、じめじめした日が続きます。梅雨がないといっても、すっきりと晴れた日が続くわけではありません。このような天気を北海道の人は「えぞ梅雨」と呼んでいます。「えぞ」というのは北海道の古い呼び方で、北海道にいる鹿を「えぞ鹿」というのと同じです。

(先生方へ)安全管理に役立つ新たな情報！

平成29年5月17日より、警報級の現象のおそれを積極的に伝える「警報級の可能性」及び気象警報等の危険度を分かりやすくした「危険度を色分けした時系列」の情報を気象庁ホームページなどで提供しています。「いつ頃警報が出るの?」「どんな現象の危険性が高いの?」など、新しい情報を学校の安全管理に役立ててください。

前日夕方 ●8日16時30分に「警報に切り替える可能性が高い」ことに言及した大雨注意等を発表。

<危険度を色分けした時系列>

田辺市田辺	今後の推移(警報級)	備考・関連する現象						
6	7	10	20	30	40	50	70	70
大雨(警報)								
大雨(注意)								
大雨(注意)								
大雨(注意)								
大雨(注意)								
大雨(注意)								
大雨(注意)								
大雨(注意)								
大雨(注意)								

気象情報へのアクセス

パソコン・スマホから

福岡管区 防災教育 検索

パソコン・スマホから

はれるん通信 検索